

令和三年度 学力調査の結果

①東京都児童生徒の学力向上を図るための調査の結果から

今年度から、小学校四～六年生、中学校一～三年生を対象に児童・生徒の学びに向かう力等に関する意識及び各学校の教育指導の充実や組織的な授業改善等に役立つこと等を目的とした調査になりました。

本市の状況として、学習の動機について「将来の仕事や生活に役立つから」「しっかりと考えられるようにしたいから」と多くの子どもが思っています。

その一方で、学習の進め方では繰り返し学習や粘り強く取り組む力、思考力や表現力の育成について課題が見られます。今後は、学校生活においても、これらの力を子どもたちに培っていくよう授業改善を図ります。

②全国学力学習調査質問紙の結果から

児童・生徒の意識調査を調べたところ、下段の家庭学習の時間を比較すると東京都や全国と比べて、少ない傾向があることが分かります。また、テレビゲームの時間については、東京都や全国より多いことが分かります。コロナ禍によって、自宅で生活する時間が増えてきているところで、家庭での時間の過ごし方が、変わってきていることが考えられます。このことをよい機会と捉え、ご家庭で、子どもと家庭生活の過ごし方や家庭学習の習慣について、話し合ってみてはいかがでしょうか。

子どもたちと家庭学習の習慣について話してみよう。

①東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査

Table with 2 columns: 学習の動機, 学習の進め方. Rows include '将来の仕事や生活に役立つから' and '確実にできるようにするまで、くり返し練習している'.

※あてはまる、どちらかと言えばあてはまると答えた割合

中学校(3年生)

②全国学力学習調査の児童・生徒の質問紙

小学校(6年生)

Table showing study time distribution for middle school students (3rd grade).

Table showing study time distribution for elementary school students (6th grade).

Table showing average correct answer rates for middle school students.

Table showing average correct answer rates for elementary school students.

全国学力学習調査の生徒の平均正答率

Table of average correct answer rates for middle school students by subject.

全国学力学習調査の児童の平均正答率

Table of average correct answer rates for elementary school students by subject.

令和三年度 体力・運動能力調査の結果

令和二年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、体力・運動能力調査は実施されませんでした。令和三年度は、感染対策を講じながら実施することができました。

【表1】は、令和三年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査と令和元年度における同調査の本市の児童・生徒の体力合計点を表したものです。

【表2】は、「コロナ前と比較して、全体的に低下傾向が見られた持久力について令和三年度と令和元年度の差を表した表です。」

低下の主な背景としては、運動時間の減少や肥満傾向のある児童・生徒の増加、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、体育

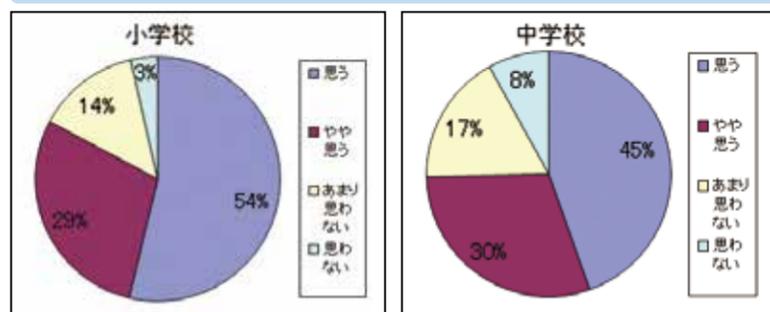
【表1】 体力合計点 (令和3年度と令和元年度の東京都とあきる野市との比較)

Table 1: Comparison of physical fitness scores between Tokyo and Aki no City.

【表2】 持久力について (20m シャトルラン・持久走)

Table 2: Endurance test results (20m shuttle run and long run) for elementary and middle school students.

【図1】 運動をもっとしたいと思うか (小中学校別)



【図1】は、「運動をもっとしたいと思うか」という質問について、「思う」「やや思う」「あまり思わない」「思わない」の割合は、小学校では五十七%、中学校では二五%となっており、否定的な回答が増えています。

Table showing average correct answer rates for middle school students (continued).

また、日常的な運動の充実を図り、休み時間や放課後に進んで身体を動かす児童・生徒がさらに増えるよう取組を推進してまいります。